

日産厚生会玉川病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

研究課題名（研究番号）	若年者気胸との比較で見た胸腔子宮内膜症性気胸の肺嚢胞性病変の特徴（No. _____）
当院の実施責任者（所属）	坪島顕司（気胸研究センター）
他の研究機関および 各施設の研究責任者（所属）	なし
本研究の目的	骨盤の子宮内膜症は生理痛や不妊等の原因となる良く知られた疾患ですが、胸の中に子宮内膜組織が発生して発症する胸腔子宮内膜症性気胸（TEP）は稀な疾患です。そのため比較的診療する機会の多い、いわゆる若年者気胸（正式名称は原発性自然気胸：PSP）と比較して多くの不明な点があります。またTEPはたとえ手術を行ったとしても術後再発率は30-40%と高率であることが知られており、その特徴の理解することは再発予防の面でも有用かもしれません。TEPでは、ほとんどの方に右横隔膜に小さな穴や血腫様の病変を認めます。そのため従来は発見の容易な横隔膜の病変ばかりが注目されてきましたが、最近PSPと同様に肺嚢胞性病変（風船状の変化でブラともいいます）も比較的多いことがわかってきました。ブラは自然に破裂することがありTEP、PSPともに気胸の原因になり得ます。このブラの発生する場所や形がTEPとPSPでどのような違いがあるのかを調査する予定です。調査結果は学会発表や論文として公表することでTEPの病態解明や治療に役立つと考えています。
調査期間	倫理委員会承認後から2025年3月31日まで
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる患者さま ・当院で2018年から2022年7月までにTEPあるいはPSPに対し手術を受けた方 ・オプトアウトを行い不参加表明のなかった方 ●利用する情報 カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します
試料/情報の他の研究機関への 提供および提供方法	なし
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者様を直接特定できる個人情報は削除し解析を行います。また、研究成果は学会や論文等で発表を予定していますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。本研究のために収集したデータは、研究終了後5年間保管し、その後はすみやかに消去します。
本研究の資金源（利益相反） お問い合わせ先 備考	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません 電話：03-3700-1151（代表） 担当者：坪島顕司